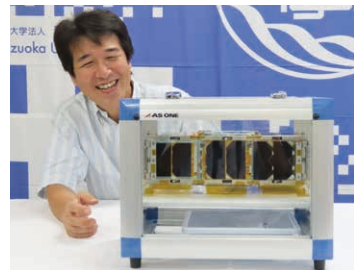


# 静岡大学の超小型衛星 「STARS-EC」打ち上げ成功



▲打上げられたアンタレスロケット



▲STARS-ECと能見教授(2020年9月25日)

静岡大学が開発した超小型衛星STARS-EC(実施責任者・静岡大学工学部・能見公博教授)を乗せたロケットが2月21日(日本時間)、NASAワロップス飛行施設(バージニア州)からの打ち上げに成功しました。

翌22日には、ロケットは国際宇宙ステーション(ISS)に滞在中の野口聡一宇宙飛行士が操作するロボットアームによりドッキング作業が行われ、STARS-ECは無事にISS船内へ輸送されました。今後、STARS-ECは宇宙空間への放出が予定され、宇宙エレベーター、宇宙デブリ除去に関連した技術実験が行われます。

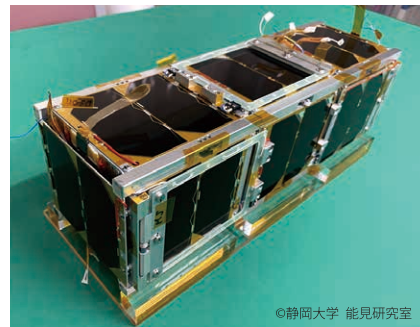
能見公博教授は、「静岡大学ではこれまでに三機の衛星を宇宙に打ち上げていますが、宇宙空間でのエレベーターの実験はまだ成功していません。これまでの衛星の技術を総合して、今回、宇宙空間でエレベーターを移動できれば世界初になる。絶対に成功させたい。」と実験の成功に向けて力を込めました。

STARS-ECは、今回、共同創業者に名を連ねる静岡大学発ベンチャー STARS Space Service の開発支援の下、能見教授が中心と



▲ISSのロボットアームにキャプチャされた補給船 NG-15/Cygnus

なり静岡大学で設計・開発・製造が行われました。3UサイズのCube Sat(一辺10cmの立方体衛星3基)が直列に並ぶ超小型衛星で、地球周回軌道上で両端の衛星からテザーを伸展し、約22mのエレベーターを構築します。中央の衛星がテザー上を移動することで、エレベーターの昇降実験を計画しています。STARS-ECの本宇宙実験により、宇宙エレベーター、宇宙デブリ除去へと繋がる技術の獲得が期待されています。



▲超小型衛星STARS-EC 愛称「三光/さんこう」

## 愛称は、静岡県の鳥「サンコウチョウ」から「三光(さんこう)」に決定



静岡県の鳥「サンコウチョウ」  
写真提供/静岡新聞夕刊 2019年8月20日掲載

STARS-ECの愛称が、静岡県の鳥「サンコウチョウ」から「三光(さんこう)」に決定しました。愛称の公募は、令和2年12月に行い、全国から103件の応募をいただき、工学部内の選考委員会で選考した結果、「三光/さんこう」に決定しました。

「サンコウチョウ」の写真は、静岡新聞社写真部で静岡大学農学部の卒業生である二神亨さんが撮影したものです。



©STARS Space Service

### 【考案者】

静岡市駿河区 大瀧 様  
埼玉県白岡市 田中 様

### 【選考理由】

- ①静岡県の鳥「三光鳥(サンコウチョウ)」から命名。
- ②STARS-ECは、3つの連なる衛星から構成されており、「三光鳥」と3連の衛星が非常にイメージしやすい。
- ③三光鳥の鳴き声が「月、日、星(つき、ひ、ほし)ほいほいほい……」と聞こえることから、静岡を象徴する鳥が天文と関係した鳴き声を持つことも何かの縁を感じる。静岡と宇宙を結びつける素晴らしい愛称。
- ④地上から、3つの光が確認できればミッションの成功となる。

### 編集後記

今号は、この4月より就任した学長、学部長からのメッセージで幕を開け、本学で行われている英語教育について詳しくご紹介いたしました。また、広報学生委員会による静岡・浜松、両キャンパスの魅力に迫る特集や、実際のフィールドワークの様子がわかる研究室のページは、静大生の

リアルを垣間見るよい機会になったのではないのでしょうか。前号では読者のみなさまから「コロナ禍での大学の様子がわかって安心しました」「卒業生の活躍を楽しんでいます」など多くの声をいただき、今号製作に際し大変励みとなりました。今後も静岡大学の「今」をお伝えてできればと思います。

SUCCESS

静岡大学広報誌  
「サクセス」2021 春

静岡大学広報誌 サクセス 2021 春 vol.25

SUCCESS

SHIZUOKA  
UNIVERSITY  
CURRENT AFFAIRS &  
CONNECTIVE PAPER FOR  
EVERY GRADUATE,  
STUDENT &  
STAFF



### CONTENTS

未来への懸け橋となる静岡大学をめざして

〈特集〉教養英語の新カリキュラムがスタートしています!

静岡大学の超小型衛星「STARS-EC」打ち上げ成功



# 未来への 懸け橋となる 静岡大学をめざして

今、私たちは21世紀という時代を生きています。この時代は20世紀とは異なり、私たちが直面する事柄の多くが、これまで経験したことのないような規模と速さで私たちの前に姿を現しています。まさに不透明感が漂い、先行きを見通すことが難しいというのが現代社会なのかもしれません。このような時代であるからこそ、物事の本質を読み解き、さらに科学技術の進歩と発展に一層の貢献をする「知の拠点」としての静岡大学に期待されていることは多いと言えます。

一方で、国立大学をめぐる環境は年々厳しさを増しています。予算の面での制約に加え、様々な形での社会的評価の目にさらされていることも確かです。しかし、このような状況の中にあっても、静岡大学はこれからも静岡県全体の均衡ある発展のために貢献する総合大学としての地歩を固めていくことが必要とされています。そして、地域の皆様との多様な形を伴う連携のもとに、静岡大学はこれからも未来を紡ぎ出す人を育て、さらに未来を切り拓く研究を進めるため、力強く前進していきたいと考えています。

国立大学法人静岡大学長  
日詰 一幸

HIZUME Kazuyuki  
1955年8月 長野県生まれ  
専門分野 行政学

1991年3月 名古屋大学大学院法学研究科博士後期課程中途退学  
1991年4月 名古屋音楽大学専任講師  
1996年4月 静岡大学人文学部助教授  
2000年4月 静岡大学人文学部教授  
2017年4月 静岡大学人文社会科学部部長  
2021年4月 第16代 静岡大学長



人文社会科学部部長  
田島 慶吾

人文社会科学部には、4つの学科(社会学科・言語文化学科・法学科・経済学科)があり、人文科学だけでなく、社会科学全般について学ぶことができます。教員が実に多様ですので、多様な意見や考え方と出会うことができます。

本学部には、面倒見のよい教員がたくさんいます。多くの国からの留学生の受け入れ、また留学を促す取組にも力を入れています。

〈プロフィール〉  
専門は経済学。好きな言葉は「明日できることを今日するな」。好きな映画は「シベールの日曜日」。ネコが好きです。好きな食べ物は肉全般。



教育学部部長  
熊倉 啓之

教育学部は、将来の教員を目指す意欲的な学生と、人文社会系から自然科学系、スポーツ・芸術系まで、多岐にわたる専門性を有した教員が、協働的に教育・研究活動を行っています。

これからの社会をリードし支えていく人材の育成を担う「教員」は、どれだけA I が進歩しても大変重要かつ魅力的な職業です。教員を目指す人は、ぜひ静大へ!!

〈プロフィール〉  
専門は数学教育学。好きな言葉は「一期一会」。趣味はウォーキング、ハイキング、テニス。好きな食べ物はモンブランとうなぎ。



情報学部部長  
笹原 恵

情報学部には、情報科学科、行動情報科学科、情報社会学科の3学科があり、広い視野から実践的な情報学の教育研究を行っています。プログラミングやAIなど最先端の情報技術を追求しつつも、人間を深く見つめ、豊かな社会の創造をめざしています。「文工融合」を旨とし、自由闊達・融通無碍が学部の特色です。

〈プロフィール〉  
専門は社会学、女性学。好きな言葉は「むずかしいことをやさしく、やさしいことをふかしく、ふかいことをおもしろく、おもしろいことをまじめに」(井上ひさし)。趣味は映画・音楽鑑賞。好きな本はポーヴォワール『第二の性』。



理学部部長  
田中 直樹

高校で学ぶ理数5教科の名を冠する5学科で構成する理学部には、放射科学教育研究推進センター、イノベーションとグローバルの観点を備えた基礎科学を活かせる人材を育成する創造理学コース、地域と繋がる「キャンパスミュージアム」などがあります。少人数制のきめ細やかな教育、新しい技術や材料を開発し「ゼロ(無)」から1(有)を生み出す研究、技術営業など様々な社会ニーズに応える人材を輩出しています。

〈プロフィール〉  
専門は数学。好きな言葉は「自分を励ます言葉を心の中にもて」(松下幸之助)。趣味は将棋。好きな食べ物は甘いもの全般。



工学部部長  
喜多 隆介

工学部はものづくりの盛んな東海地区、浜松市に位置しており「新しいことに挑戦し創造する!」という気風が流れています。素直で真面目な学生が多いです。

超小型人工衛星の開発や超高感度・超高速イメージセンサーの開発をはじめとする世界トップレベルの研究が進んでいます。毎年多くの卒業生が有力企業に就職し、日本を支えるさまざまな企業で幅広く活躍しています。

〈プロフィール〉  
専門は電気電子材料工学、超伝導工学。好きな言葉は「欲を離れて人の為に尽くす」。趣味はウインドサーフィン、ボーリングなど。



農学部部長  
鳥山 優

農学という幅広い学問領域の中でさまざまな新しい研究を精力的に行っています。地域産業との連携を大切にしており、学生もそのような環境で育っていきます。学生と教員が一体となって、教育と研究の魅力を高めようと頑張っています。新築したばかりの農学総合棟には、ゆとりのあるフリースペースや生協・食堂があります。

〈プロフィール〉  
専門は細胞生物学。好きな言葉は「当たり前を当たり前と決めつけない」。趣味は登山(八ヶ岳)、電気工作(アンプ作り)、フラメンコギター、数理パズル。好きな食べ物は伊達巻、メロン、カフェラテ。



地域創造学環長  
江口 昌克

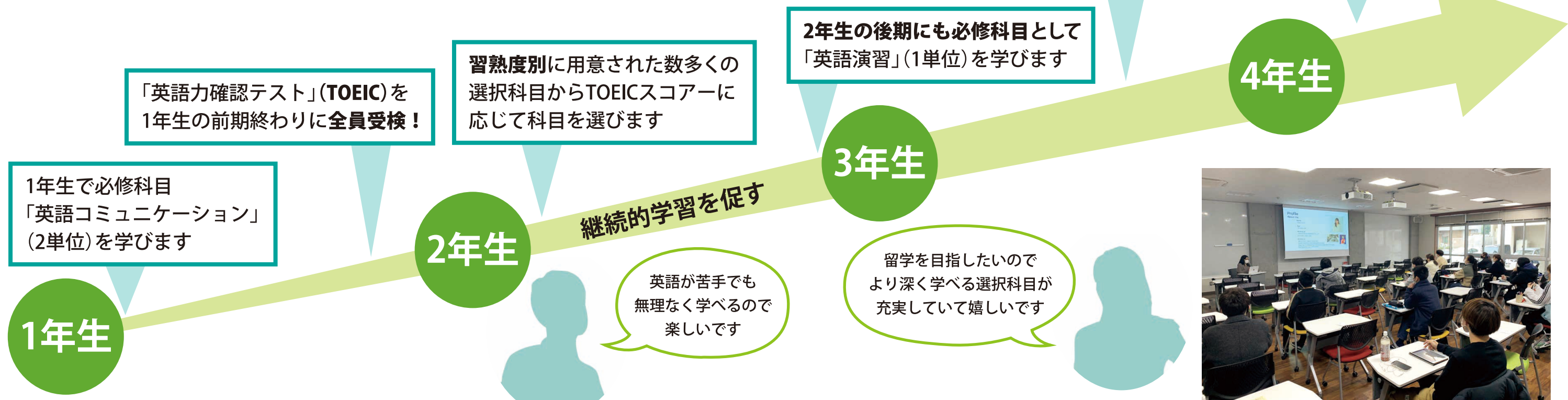
フィールドワークやインターンシップが充実しています。「地域とともに学び、地域とともに成長する」プラットフォームが完成しつつあり、入学後、何を見つけ何を学ぶか、それを考える手がかりに溢れています。学環の教育は「対話」を基調とし、学生の知への探求心に応えてくれる教員が数多くいます。今後、学環生の居場所として地域創造学環棟がリニューアル予定です。

〈プロフィール〉  
専門は臨床心理学、コミュニティ心理学。好きな言葉は「stay weird, stay different」。好きな本は「夜と霧」。好きな食べ物は浜名湖のうなぎ。



# 教養英語の新カリキュラムがスタートしています!

2020年度から始めて1年。ポイントをお伝えします。



履修申請して規定の科目単位数を修めることにより、英語特別教育プログラムに参加可能です(修了時に修了書発行)  
英語特別教育プログラムとは、留学や英語が頻繁に使われる国内外の企業に就職を希望する等、高度な英語力の習得を望む学生のためのプログラムです。



外部講師を招いた「ESP II 地域」の授業

## 旧カリキュラム(下表)を細分化して幅広いレベルに対応

TOEIC 500未満 1単位科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語リーディングⅠ</li> <li>英語ライティングⅠ</li> <li>英語コミュニケーションⅡ</li> <li>英語演習Ⅱ</li> <li>基礎英語演習(再履修)</li> </ul>
500未満 1単位科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語リーディングⅡ</li> <li>英語ライティングⅡ</li> <li>英語演習Ⅲ</li> <li>ビジネスイングリッシュ</li> <li>アカデミックイングリッシュⅠ・Ⅱ・Ⅲ</li> <li>英語ディスカッション</li> <li>英語インテンシブA・B</li> </ul>

[必修科目] 英語コミュニケーションⅠ(1年前期)、英語演習Ⅰ(1年前期)  
[選択科目] 英語海外研修A・B

## 新カリキュラム

TOEIC 500未満 1単位科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎英語A・B・C</li> <li>*各科目履修することにより10%ずつ、英語演習の成績に加算(合計30%)</li> </ul>
500以上 2単位科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>中級英語A・B・C・D</li> <li>総合英語ⅠA・B・C</li> </ul>
600以上 2単位科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>上級英語A・B・C・D</li> <li>総合英語ⅡA・B・C</li> <li>アカデミックイングリッシュ</li> <li>ビジネスイングリッシュ</li> <li>英語インテンシブA・B・C・D</li> </ul>
700以上 2単位科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合英語Ⅲ</li> </ul>

[必修科目] 英語コミュニケーション(1年前期)、英語演習(2年後期:TOEIC500点未満学生を対象)  
[選択科目] ESPⅠ(留学)/ESPⅡ(地域)  
→英語コミュニケーション(中級・上級クラス対象)、英語海外研修A・B

## 海外や地域で活躍してほしい!

～新たに開講した選択科目の例～

<p><b>ESPⅠ 留学</b></p> <p>「在学中に留学したい」「留学に興味がある」という学生を対象に開講。本学の留学制度を学び、いろいろな国の文化などを調べて、英語で発表します。</p>	<p><b>ESPⅡ 地域</b></p> <p>静岡について英語で学んだり、調べたり、ポスターやスライドなどにまとめて発表したりして、世界に英語で発信することが目標です。</p>	<p><b>集中講義</b></p> <p><b>英語インテンシブ A/B/C/D</b></p> <p>TOEIC600点以上の学生が長期休暇を利用して留学対策や発音に重点を置いた講義などを集中的に学びます。</p>
<p><b>基礎英語 A/B/C</b></p> <p>TOEIC500点以上を養います。単位を取得すると2年後期の「英語演習」(必修)の成績評価の10%ずつ(合計30%)が加算されます。</p>	<p><b>上級英語 A/B/C/D</b></p> <p>TOEIC700点以上取得を目指し、「リスニング+スピーキング」「リーディング+ライティング」など特化したクラスを履修することができます。</p>	<p><b>海外英語研修 A/B</b></p> <p>本学と提携する海外の大学に長期休暇を利用して3~4週間留学します。英語力に加え、現地での体験や交流を通じて異文化理解も身につけます。</p>



### がん治療に応用する磁性ナノ粒子を解明

大多 哲史 Ota Satoshi — 工学部 電気電子工学科 助教

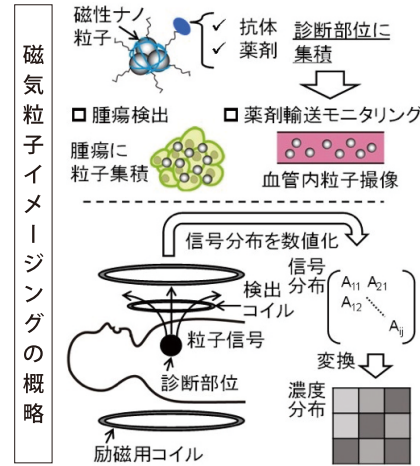


抗がん剤のような副作用も、手術で生じる身体的負担も少ない治療法の一つに、がん温熱治療がある。磁性ナノ粒子を注

射でがん患部に送り込み、交流磁場を加えて発熱させて治療する。その発熱を十分に示す磁性ナノ粒子の開発を目指して、粒子径などの最適化や、粒子の磁場に対する応答機序を解明する研究に取り組んでいる。

粒子は、ナノ(1ナノメートル=10億分の1メートル)サイズの粉末で、凝集や溶媒など状態によって特性が変化するため、治療に適した粒子設計が必要になってくる。この粒子をトレーサーとした医療イメージング技術と組み合わせることで、近年はがんの診断と治療を同時に行う研究も注目されている。

磁性ナノ粒子は、バイオ医療分野で盛んに研究されていますが、他分野でも応用の可能性があると思います。磁気特性は、基礎的な物理モデルは存在するものの、未解明な現象が山積み状態で、粒子径などの磁性ナノ粒子のパラメータに依存した磁気的な挙動をモデル化し、各応用に最適化されたナノ粒子の開発に貢献していきたいです。学生さんにも未来の産業技術の発展に繋がる基礎的な研究の魅力に触れてもらいたいと思います。



### 農業におけるリモートセンシング技術の活用

菌部 礼 SONOBE Rei — 農学部 生物資源科学科 助教

農作物の付加価値を高めるために、農作物に大きなストレスをかける例は少ない。茶樹に遮光ネットなどを被せて光合成に必要な光を遮断することは、抹茶加工品の着色に必要なクロロフィルaや、甘み成分であるテアニンの含有量を高める上では有効だが、収量の低下や枯死を引き起こすことがある。

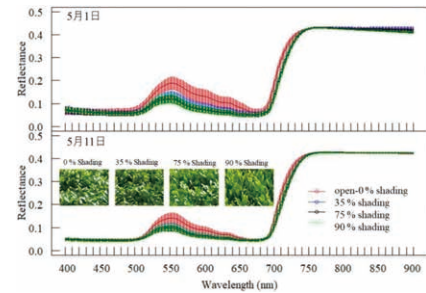
最適な農業を実現するためには、薬品や高価な機械を使って成分を分析し、ストレス度や品質への影響を正確に評価し



反射パターンの計測  
計測器にはハロゲンランプが内蔵されており、このランプから照射される光の反射パターンを計測している。

なければならない。それを何とか生育状態で実現したい。

そこで注目したのが、ストレスを受けると光の反射パターンに変化が生じるという特性だ。これを活用し、遠隔からセンサーを使って感知するリモートセンシング技術で定期的に評価を行うことにより、農作物の有効な情報を提供できると考える。



ストレスの強さと茶葉の反射パターンの影響  
ストレスを受けると緑色領域の反射パターンが大きく変化する。



広範囲の測定はドローンを活用している。

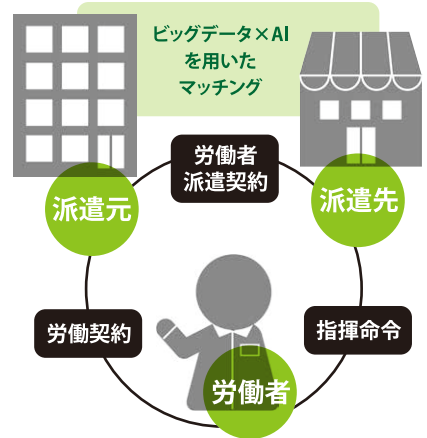
私は卒業後、航空測量会社に就職、さらには食品工場に転職して中華まんを製造していました。現在はリモートセンシングを用いて、食品加工に有効な農産物生産に貢献する技術の開発に取り組んでいます。前職で得た経験が現在の私を形成しています。本研究では、他の技術とリモートセンシングが融合した際の技術の進展を実感できるのが楽しみの一つになっています。

### AI時代の「働く」を支える労働法政策

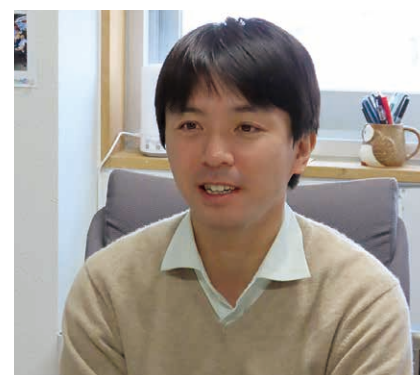
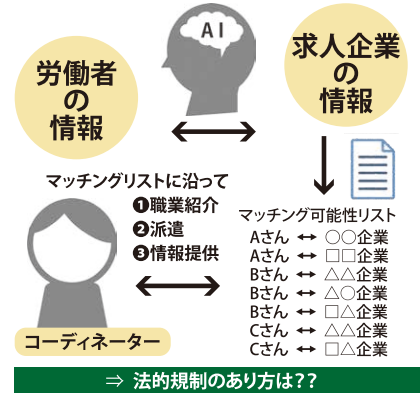
本庄 淳志 Honjo Atsushi — 人文社会科学部 法学科 准教授

日本では、従来、いわゆる「正社員」を中心とした長期安定雇用が当然視されてきたが、経済活動のグローバル化や少子高齢化により、多様な働き方に迅速かつ柔軟に対応する法政策が必要となっている。

研究テーマである労働者派遣には、労働契約(雇用)の当事者と指揮命令(使用)の当事者が分離した間接雇用という特徴があり、直接雇用の場合と異なる特別な法規制が必要となる。近年はビッグデータやAIを活用した人事管理の拡大に伴い、就職情報サイトを通じたAIによるマッチングについても、どんな法規制が必要か、既存の働き方や法規制のどこを修正すべきか、など研究を広げている。



「自分に適した職業に就く」。このハードルが下がれば、特定企業への依存度も下がり、翻って個々の就労者が主体となる「真の」働き方改革へと繋がっていくでしょう。AIやビッグデータの活用など、人事管理のあり方が大きく変貌している今、最先端の実務と対話しつつ、あるべき規範(法的枠組み)を模索することに労働法研究の面白さがあります。法規制の実効性確保にも関心があり、若い世代にワークルール教育を普及しています。



### 物質の「輸送」を医療・環境に応用

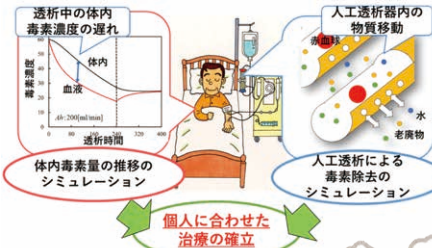
佐野 吉彦 Sano Yoshihiko — 工学部 機械工学科 准教授

物質の移動を研究する「輸送論」。これに基づき、医療と環境の分野で以下を目指している。

- ①個人に合わせた人工透析治療の確立  
人工透析器内の毒素移動だけでなく、透析中の生体内の毒素移動を加味することにより、個人の生体的特性に合わせた人工透析療法を実現。
- ②海水資源回収プロセスの開発  
RO膜とイオン交換膜を組み合わせ、省エネルギーで海水から飲料水と鉱物を回収する技術の開発。



ここで重要なのは「機能膜」という、膜に存在する細孔や電荷の塗付により、特定の粒子やイオンを分離する膜である。この分離性能を最大限に活かすため、膜内と膜に至るまでの物質移動を連成させる技術開発に挑戦している。



私は輸送論に基づき、複雑流動系の熱・物質移動の研究をしてきました。わかりやすくコーヒーで例えると、お湯が数千ものコーヒー豆の隙間を通る際、熱と物質が移動してコーヒーが出来上がります。豆ひとつの熱・物質移動はシンプルですが、数千もの豆になると、スーパーコンピューターを駆使しても、コーヒー抽出予測は困難になります。私は、この複雑で目を背けがちな輸送現象にあえてフォーカスし、ミクロとマクロの現象をつなげることで上記の研究を行っています。





# 活躍する先輩たち

いまの仕事、静大で過ごした日々、後輩たちへのメッセージなどをお聞きました。



## 大学での挑戦の日々は いまの私の宝物に

しらとり いくみ  
**白鳥 生実 さん**

総合科学技術研究科理学専攻（2020年修了）  
株式会社駿河生産プラットフォーム 勤務

1995年生まれ、静岡雙葉高等学校卒。  
趣味は、Jazz鑑賞と演奏。好きな言葉は「一所懸命」。

### ●「昨日の自分を越えた！」が嬉しい

岡林利明研究室では物理化学の研究をしていました。機械を触ることが多く、薬品などはほとんど扱わなかったため、就職活動では化学系に拘らず、面白そうな会社をなんでも受けようと考えていました。今の仕事を選んだのは、自分のやってきた分野とは一番かけ離れた専門領域で挑戦してみたいと考えたからです。今はまだ、勉強しながら実務を覚えている最中ですが、「昨日先輩に教えてもらった技術を今日は上手く利用できた」など、昨日の自分を越えたと感じる瞬間が今の一番の喜びです。できなかったことができるようになる。それを第1の目標に挑戦の日々が続いています。



研究室での経験が仕事に活かしています

### ●研究室で学んだ姿勢、仕事に活かす

岡林研究室では多くの学びがありました。中でも、現在の仕事に活かしているのが「目的を持って行動する」ことです。たくさんタスクを抱えたときに必要とされるのは効率性で、現在行っている作業でどんな利益を得ようとしているのかを意識することが求められます。それは、研究室で実

験をする際に身につけた姿勢でもあります。就職してからも考えて仕事を行う基礎になっています。岡林先生には本当にたくさんのことを教わりました。実験の方法を相談したり、報告書の書き方を教わったりとキリがありません。思い込みの激しさでミスしてしまう私に「全てを疑いなさい。先生の言っていることも、自分自身さえも、間違っているかもしれないと疑ってかかりなさい」と言ってくださいました。先生に頂いた言葉の中で一番大事にしている言葉です。今も仕事のとときに、疑い深くなることで恥をかかずにすんだり、事前にミスに気付いてスムーズに事を進められたりすることも多く、先生には感謝してもしきれません。

### ●大学で始めたJazz、上達のプロセスは…

大学時代は、Jazzサークル「Shizuoka univ. Standard Harmony Jazz Orchestra」でコントラバスを弾いていました。それまでJazzの知識は全くなく、初めて弾いた時は音すら鳴りませんでした。それが悔しくて、「絶対弾きこなしてやる！」と決意。まず同じパートのメンバーに私の弾き方の問題点を挙げてもらいました。



Jazzの大会にて

次に、プロの弾き方を動画サイトで見て、目標とする弾き方、音色を決めました。問題点と目標を定めて毎日エレキベースの練習を行い、腕前は格段に上がりました。卒業してからも演奏を楽しんでいます。この練習経験も、実は今の仕事で、実務の問題解決のプロセスとよく似ていると感じています。



今も愛用しているエレキベース

### ●挑戦した経験が、宝物になる

大学では高校時代よりも自由に遊ぶことができます。一方で、自分の行動一つ一つに責任が課せられることになります。これは、就職して独り立ちする時にも必ず通る道で、貴重な経験です。自分はどうなりたいかを考えて行動するのは、必ずしも上手くはいきませんでした。自分の中ではとても楽しい思い出です。どうか皆さん、何事も挑戦を、経験をしてください。それが宝物になる日が必ず来るのではないかと思います。



## 「よきモノづくり」で みんなを笑顔にしたい!

いそ かずき  
**磯 和樹 さん**

工学研究科電子物質科学専攻（2016年修了）  
花王株式会社 勤務（研究員）

1989年生まれ、宇都宮高等学校卒。  
趣味は野球観戦。好きな言葉は「乾坤一擲」。

### ●プロセス開発に一から取り組む

この会社を選んだきっかけは、東日本大震災でのできごとです。被災者の方々が日用品を涙ながらに受け取っている姿を見て、日用品が人々の暮らしと密接に結びついており、困っている人たちに届けることで社会を元気づけることができると知りました。将来、花王での研究活動を通して世界中の人たちを笑顔にしたいです。現在は、加工・プロセス開発研究所に所属し、『めぐりズム』の生産プロセスの設計開発を行っています。つくり方で価値を創造し、花王の使命である「よきモノづくり」を実践できることにやりがいを感じています。また、大規模プロジェクトにチームで取り組んでおり、一回一回の実験が常に真剣勝負です。上司や先輩と議論しながら研究を進めることで新たな知見が得られ、自身の成長を感じています。

### ●ものづくりの基礎を学んだ大学時代

ものづくりの盛んな東海地方の静岡大学であればエンジニアの基礎が学べそうだと思います。工学部に入学しました。温暖で食べ物もおいしい静岡の生活に魅力も感じてい



研究室の先輩方と四国お遍路参り（右端が本人）

ましたね。専攻は化学でしたが、工学系の基礎知識も実習で学びました。中でも熱心に取り組んだのは「化学工学」です。ものをどうやって作るか、物質の移動を考える学問です。分野に関わらず、物質の移動が起こる場面では考え方の基礎となるので、現在の業務でも実験計画の立案や結果の考察に役立っています。木村元彦先生の「工学基礎実習」も印象的でした。入社してみて、研究エンジニアは「頭と手を動かしてなんぼ」を痛感。この実習でエンジニアに必要な不可欠な基礎を面白おかしく学べたことが現在の礎になっていると感じます。大学院で取り組んだ「電気化学」の指導教員の昆野先生、同学科の下村先生、嵯峨根先生に大変お世話になりました。研究で疑問に感じたことを相談した時、納得いくまで個別に議論いただきました。身の回りの機械や実験機器の仕組みを知る授業も役立っています。どんな専攻でも入社後、様々な機械を相手に仕事をするようになります。大学で学んだ専攻外だからと食わず嫌いをせず学ぶことが自分の仕事の範囲を広げてくれると思います。



横浜スタジアムで趣味の野球観戦

### ●格闘技で得た負けられない「ガッツ」

課外活動にも積極的に取り組みました。学生だけで「目標に向かいスタートからゴールまで一丸となって取り組む」ことは、貴重な経験で、仕事においても役立ちます。私はテコンドー部で大会に参加し、格闘技にのめりこみました。プライベートでもボクシングジムに通い、一般の方々と共に汗を流す毎日。仕事で辛い時も負けずに取り組む「ガッツ」が身につきました。



テコンドー大会で入賞!

### ●自分を決めつけ過ぎず、挑戦しよう

良い意味で無責任に好きなことに取り組んだ学生生活でした。将来の生き方を決めていく時期ですが、自分で決めつけ過ぎず多くの夢を持っていいと思います。むしろ自分の可能性を信じ、何でも取り組んでみて下さい。何かを選択する時、迷ったときはまずやってみる。失敗しても大丈夫です。自分で決めた道では時には後悔もあるかもしれませんが、それ以上にきっと素敵な出会いが待っています。私も山あり谷あり失敗ばかりの学生時代でしたが、そこで出会った人たちはかけがえのない宝物ですね。





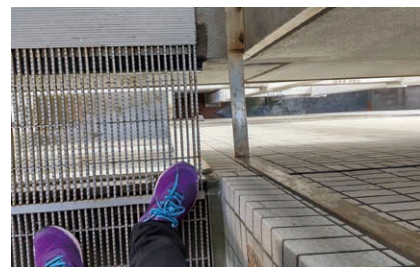
### 浜松キャンパス噴水

外でランチするならココに決まり！  
天気の良い日にベンチで過ごせる、  
浜キャンのイチオシスポット！



### 浜キャン 総合研究10階

コーヒー片手に富士山を堪能！



### スリルはいかが？

理学部A棟と総合研究棟の間  
には身の毛もよだつ隙間が！  
3階分の高さがあります。

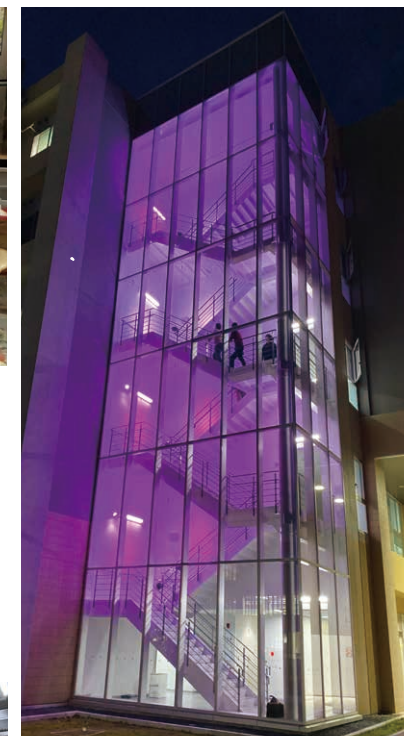


### キャンパスミュージアム

4月1日に新装オープン！  
本格的な展示施設です。

### 学部の イチオシ

農学棟  
エントランス  
野菜の販売もある？



### パープルライトアップ

昨年実施！またやって～

- 広報学生委員会：
- 新井璃子 大野ほのか 藤井七夢 田口実花子
- 矢勢才華 宮澤かれん 武田葉奈



## 静大といったら おすすめ

## ココでしょ！ スポット特集

### 勉強するならここ！



### 人文B棟 1階 学生控え室

コピー機・パソコン完備！ 集中したいときに…



### 教育棟ラウンジ

友達との勉強はもちろん  
休憩としても大活躍！

### わいわいするなら！



### 農学棟休憩スペース

照明の雰囲気最高！



### リフレ



### 聞いて驚け 見て驚け

満足すぎる蔵書にびっくり！  
書庫にはこんなに古い本も。  
背表紙のラベルにご注目。

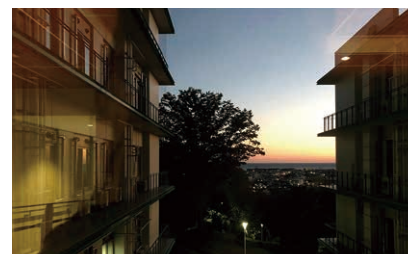


### 教育棟階段

小学校を思い出す!?

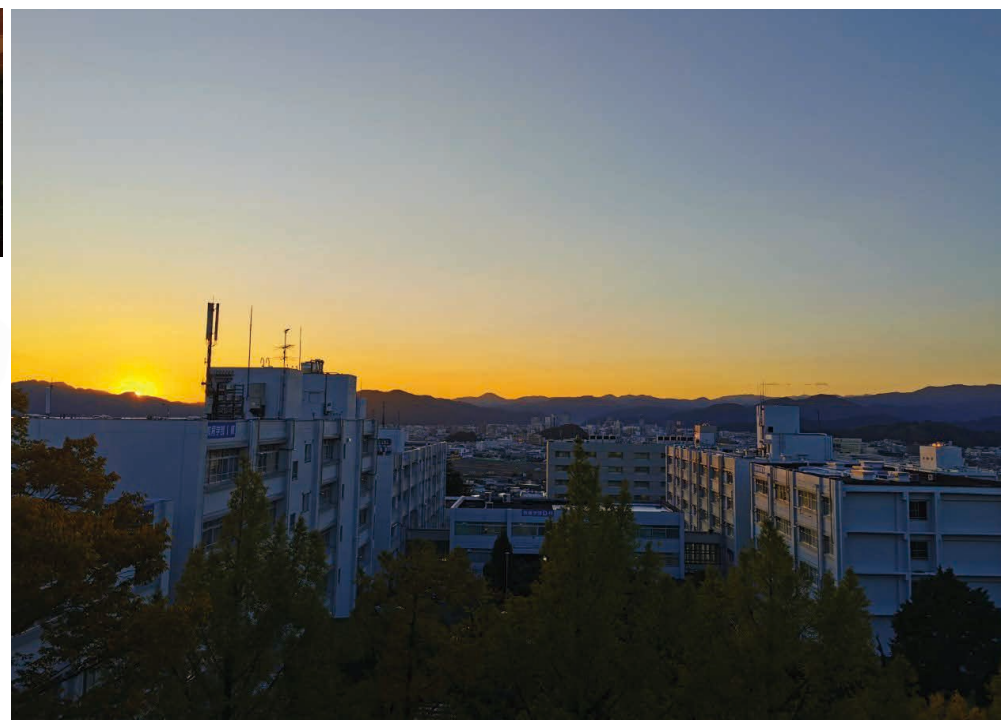
### 駿河湾ビュー

静キャンからは海が！



### 人文棟 4階ベランダ

静岡の街と駿河湾を一望！  
夜景や紅葉などを楽しめる  
静キャンイチオシスポット！  
人文棟まで足を運んだら  
ぜひ見てほしい眺め！



### 浜キャン図書館

モダンな空間で設備も充実。  
疲れたらラウンジでひと休み！



# 私たちの研究室

## 教育学部 理科教育専修 加藤研究室

生き物との正しい関わりを学ぼう！

フィールドワーク中心の保全生物学研究室



### 加藤 英明 (講師)

魚類から両生類、爬虫類、哺乳類まで野生生物の保全生物学を研究



著書 爬虫類ハンター：加藤英明が世界を巡る

学生たちには、まず身近な生き物を見分ける力、環境を評価できる力を身につけ、さらに外来生物が在来生物に与える影響の調査を通し、国内外の様々な生き物との正しい関わりを学び、伝えることができる人を目指してほしいです。



### 研究分野

身近な水辺に暮らす生き物たちを中心に、形態形質やDNA塩基配列などから系統を明らかにし、遺伝的多様性と地理的変異を考慮した保全を目指しています。淡水カメ類では、日本の固有種「ニホンイシガメ」の現状調査を行い、絶滅が危惧される地域個体群の効果的な保全方法の確立に向けて取り組みを行っています。

### 加藤研究室 あるある!?

- ① もれなく全員つなぎをGET
- ② フィールドワークは雨天、猛暑日、土日はお休み♥
- ③ でも毎週続くことも…💧
- ④ 普段立ち入り禁止の堀にも研究で入れる
- ⑤ 歩く&食べるが速くなる(加藤先生が速い!)

### 学生インタビュー

フィールドワークでは、環境を評価するため、川や池に罠を仕掛けてカメ類などを調査したり、池の水を抜いたりしています。



### フィールドワークが魅力です

実践を通して環境保全の知識や考え方をいろいろ身につけていきたいです。(2年生 杉本虹奈)



### 外来生物の多さを実感

アメリカザリガニやジャンボタニシの研究をしています。これらの防除効果がどのくらいあるか知るのが楽しみです。(3年生 渡邊美月)

### 研究と就職活動の両立はバッチリでした!

市役所に就職が決まりました。環境保全には地域の協力と大学・行政との連携がとても重要であることを学んだので、今後役に立てていきたいです。(4年生 加藤花那)



### 卒業研究のテーマ

1. 動物の系統と進化に関する研究
2. 外来生物が生態系に及ぼす影響に関する研究
3. 絶滅の恐れのある野生生物の保護に関する研究

### 進路・取得できる免許状

小学校教諭免許状、中学校教諭免許状理科、必要な単位を修得すれば高等学校教諭免許状理科も取得可能です。

1年生 入学

2年生 物理、化学、生物、地学、理科教育の全分野を幅広く学びます

3年生 みんなで調査研究 卒論テーマ決定とデータ収集 進路選択と試験対策

4年生 採用試験 卒業研究・発表 卒業・大学院進学

加藤研究室で学んだ多くの学生たちが、フィールド調査で得た経験を活かし、教員や行政で活躍しています





## 第24回環境コミュニケーション大賞 環境報告部門で「環境配慮促進法特定事業者賞」を受賞

静岡大学が昨年9月に発行した「静岡大学環境報告書2020」が、『第24回環境コミュニケーション大賞』（主催：環境省、一般財団法人地球・人間環境フォーラム）の「環境報告部門」において、「環境配慮促進法特定事業者賞」を受賞しました。

この賞は、環境配慮促進法の特定事業者による報告のうち、特に優れた環境報告書を表彰するもので、「静岡大学環境報告書2020」は、“読みたくなる環境報告書”をキャッチフレーズに学内・学外のステークホルダーの方々に楽しく理解いただける冊子づくりを継続しており、今年度は新たに静岡大学のSDGsに繋がる活動を『静岡大学SDGsトピックス』としてまとめ、地域の環境問題等に貢献する研究として「新しい作物により地域農業の活性化を図る研究」「静岡県自然災害に関する研究」「農業の省力化に関する研究」「駿河湾のサクラエビに関する研究」「燃料改善につながる研究」を紹介しました。

静岡大学は、今後も環境報告書を公表することを通じて、誠実な環境情報の開示を実現していきます。

【静岡大学環境報告書2020：URL】

<https://www.shizuoka.ac.jp/facilities/Emangement/Em2020.pdf>



今年度はオンラインでの表彰式でした

## 「スチューデントアンバサダープログラム」を実施 —日本人学生と留学生がグループで活動—

国際連携推進機構は2020年より「一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト (GiFT)」と連携して、新たな国際教育プログラム「スチューデントアンバサダープログラム」を企画・実施しました。このプログラムは、コロナ禍で留学生の受け入れや海外派遣ができない現状においても、よりよい世界づくりに向け、いま何ができるかを考え、行動する「地球志民 (グローバル・シティズンシップ)」の育成を目指したものです。

プログラム・テーマには「自分たちなりのSDGs」を掲げ、日本人学生と留学生が、約4か月間にわたって意欲的に参加してくれました。クライマックスは2021年1月に設けた「アンバサダー・ウィーク」。期間中はグループごとに様々なイベントを企画し、フードロス、マイノリティ、リユース等と多岐にわたり、自分たちの伝えたいSDGsへの思いを形にしました。

「できることから始めよう」。参加者同士で思いを共有し、意見交換を重ねながら、テーマに関する知識を深め、新たな挑戦へと向かう静大生の姿がありました。



第1期スチューデントアンバサダー



VeganとFair tradeについて考える

Tシャツをエコバッグにリユース

## アンケートへのご協力のお願いとプレゼントのお知らせ

今号はいかがでしたか? 誌面のご意見・ご感想をお寄せください。今後の誌面づくりの参考にさせていただきます。ご協力いただいた方には…

### 静岡大学オリジナル「マスクケース」 先着50名様にプレゼント!

プレゼントご希望の方は、必ず  
**お名前・ご住所をご記入の上、  
2021年5月31日まで**に巻末の  
郵便はがきをご投函ください。

静大の各学部をイメージしたアイコン柄がステキです!  
レシートやちょっとしたメモを入れても便利です。  
デザイン：齋藤麗愛さん (教育学研究科)



## ご寄附をありがとうございました 静岡大学未来創成基金寄附者芳名一覧

(五十音順)

静岡大学未来創成基金にご寄附をいただきまして、心より御礼申し上げます。  
ご厚意を賜りました皆様へ感謝の意を込めまして、ここに芳名を掲載させていただきます。

〈個人〉	青木 弼 様 池上 浅夫 様 泉沢 滋樹 様 今西 武志 様 上原 康明 様 及川 紀幸 様 大野 泰宏 様 小栗 志介 様 加藤 翔太郎 様 加茂 比呂夫 様 倉田 一幸 様 子安 博文 様 佐伯 善貴 様 佐藤 哲也 様 渋谷 けい子 様 鈴木 翔子 様 関田 三七郎 様 高森 将登 様 寺田 幸宏 様 中野 太郎 様 二宮 愛実 様 原 信一郎 様 深見 玲子 様 藤田 恭弘 様 松原 広幸 様 三輪 強 様 山口 裕貴 様 山本 奈央 様	秋山 雅俊 様 石井 潔 様 伊東 孝之 様 入江 信一郎 様 宇佐美 昌孝 様 大石 雄一 様 小川 昭司 様 奥脇 将之 様 加藤 智彦 様 河合 学 様 黒江 真行 様 小山 享志 様 佐海 文隆 様 佐野 敬祥 様 白水 浩一 様 鈴木 享 様 瀬戸口 智彦 様 館野 誠 様 寺村 衆一 様 中村 誠一 様 野末 菊夫 様 日置 健児 様 福澤 謙一 様 藤田 幸江 様 間宮 年弘 様 村上 昇市 様 山下 昌一 様 吉野 沙織 様	足立 宏允 様 石井 美紀 様 伊藤 勉 様 岩倉 宏之 様 内山 敬介 様 大神 幸笑 様 小川 利春 様 落合 暁雄 様 金田 勝 様 川合 基夫 様 黒坂 剛孝 様 近藤 誠 様 佐々木 寛子 様 佐野 吉彦 様 菅沼 亮介 様 鈴木 幸幸 様 高瀬 博行 様 田中 義二 様 東郷 敬一郎 様 中村 利武 様 袴田 進示 様 彦坂 満弘 様 福田 雅澄 様 藤野 忍 様 丸山 久代 様 森川 真 様 山田 拓郎 様 和久田 雅子 様	足立 光弘 様 石塚 宏 様 伊藤 雄司 様 岩島 秀樹 様 内山 敏則 様 大城 三男 様 檜山 省三 様 加美 由久 様 河島 武 様 小池 忠 様 齋田 勇介 様 笹原 恵 様 鮫島 大久 様 杉山 一統 様 鷹野 毅 様 樽木 昭 様 鳥居 光明 様 柳樂 真理子 様 長谷川 芳樹 様 深川 明則 様 藤井 良昭 様 真栗 司 様 三澤 清 様 山口 昇吾 様 山本 久美 様 渡邊 徹 様	飯島 祥二 様 石原 初音 様 井上 フヂエ 様 上 宏史 様 榎吉 清光 様 大塚 勇一 様 奥村 朱美 様 柏瀬 祥一 様 神浦 克宏 様 久米 芳雄 様 小林 文子 様 斉藤 嘉子 様 佐藤 潤 様 猿原 大和 様 鈴木 順次 様 高橋 一利 様 土屋 正和 様 中川 賢二 様 西村 文宏 様 廿日出 正美 様 深澤 拓摩 様 藤嶋 武憲 様 増田 万理子 様 水野 勲 様 山口 昇吾 様 山本 昌市 様
------	--	---	--	---	--

〈法人等〉	化学工学部卒業生(94K) 様 株式会社シュガーハウス 様 株式会社谷島屋 様 スルガ銀行株式会社 様 浜松工業会大阪・奈良・和歌山支部 様 浜松市立引佐南部中学校 様	株式会社サラト 様 株式会社村上産業 様 静岡大学教育学部附属島田中学校PTA 様 創英国際特許法律事務所 様 浜松工業会東京支部 様
-------	---	---

※ご芳名は、原則令和2年8月1日から令和3年1月31日までの間にご寄附いただき、公開についてご承諾いただきました方について掲載しております。  
なお一部、クレジット等含めご入金日より、前回掲載分に間に合わなかった寄附者の方々もあわせて掲載しております。ご入金金が未確認の皆様については、今後、ご入金の確認ができ次第、順次、広報誌に掲載させていただきます。  
※山口昇吾様につきましては同姓同名のお二方がいらっしゃいますので、お二方とも掲載しております。

## 静岡大学未来創成基金について

静岡大学未来創成基金へいただいたご寄附は、寄附者の皆様のご意向に沿い、有効に活用させていただきます。主な用途は以下のとおりです。

- ・学生奨学支援
- ・国際交流事業
- ・学術研究支援
- ・キャンパス整備
- ・修学支援事業
- ・研究等支援事業
- ・特定基金事業

## 基金の活用(令和元年度)

- ・静岡キャンパスのテニスコート(2面分)への夜間照明設置(約14,120千円)
- ・附属図書館静岡本館の学習環境整備(約1,000千円)
- ・私費外国人留学生支援(約450千円)
- ・海外派遣学生支援(約250千円)など

有効に活用させていただきます



冬場は日没が早く活動時間が限られていましたが、夜間照明のおかげで一年間を通じて活動ができます。本当にありがとうございます。

静岡大学学長室  
電話：054-238-4402  
E-mail：kikin@adb.shizuoka.ac.jp  
未来創成基金ウェブサイト  
<https://www.shizuoka.ac.jp/fund/>



※静岡大学未来創成基金の詳細は、ウェブサイトをご覧ください。